

「福祉サービス第三者評価」等を踏まえたサービス改善計画・実施状況

施設名	社会福祉法人コロロ学舎 五乃神学園	受審(実施)年度 (※)	平成 30 年度	施設番号	45 - 0035
-----	----------------------	-----------------	----------	------	-----------

※第三者評価または利用者調査実施の年度

項目	評価結果に基づく現状分析 (平成 30 年度)	改善計画 (平成 30 年度末時点)	実施状況(予定を含む) (平成 31 年 4 月 30 日時点)	左記実施状況に実施予定が あった場合の実施状況 (平成 年 4 月 30 日時点)
職員の意見をさらに収集する取り組みを継続的に行っていく必要性について	毎月の支援目標を設定する際、各組会議にて、目標案を募り、その後役職者会議で決定している。日々の引継ぎ会や定期開催している虐待防止委員会においても、意見を引き出せるような雰囲気作り努めているが、意見を十分吸い上げられているとはいえない現状である。	(1)新人向けに支援上の疑問に答える Q&A 研修を実施する。 (2)支援目標や人権目標は、一般職の意見を取り入れ設定する。支援中も常に目標を意識できるようポスター掲示するとともに、引継ぎ会、組会議、虐待防止委員会等で意見を引き出し次の目標設定に反映させていく。 (3)考課面談で個々の意見を聞く	① 実施済み (2)は、毎月、具体的な支援目標・人権目標を設定し、実施している。 ② 実施予定 (1)新人向け Q&A 研修(令和元年年 5~6 月ごろ) (3)考課面談実施予定(令和元年 7 月・12 月ごろ)	1 実施済み (平成 年 月) 具体的には以下のとおりです。
支援の先にあるビジョンの具体化とその実現に向けての取り組みについて	利用者の行動状態を安定させるための基礎的療育活動は定着しており、職員の意識も高いが、行動を整えた後、社会化に向けてどのような活動に取り組むかという具体的イメージは薄く活動が定型化している現状がある。役職者が率先して日頃の療育活動に「+α」を加えたモデルを見せていく必要がある。	(1)利用者の作業や運動スキル向上に向けて支援計画を検討し、その実現に向けた活動モデルを検討し、実施していく。 (2)町内会や、地域の方々と連携し、地域における利用者の活動の機会を増やしていくため、相談の機会を作る。	① 実施済み (1)新しい運動用具を購入し、サーキットトレーニング等、種々のスキル向上に向けた活動に取り組み、実施している。 ② 実施予定 (令和元年6月ごろから) (2)町内会や市内団体に、地域行事や活動の準備・片付け等積極参加の意向を伝え、相談を始めた。地域行事・地域活動に、役割を持って参加していく。	1 実施済み (平成 年 月) 具体的には以下のとおりです。
コロロメソッドの技術・理論の継承について	職員のコロロメソッドの理解を深めると共に、支援力向上を目的として、毎月の理論研修に加え、OJTを実施しているが、経験年数に応じたきめ細かい研修の設定は難しい現状にある。特に支援の中軸となる3~4年目以降の中堅職員の育成定着のためのアイデアが不可欠である。	(1)法人本部の研修研究課と連携を取りながら、職員の希望と、現場の必要性にマッチした研修計画を立案・実行する。 (2)法人全体研修とともに階層別(新人・一般職・役職等)の研修を実施する。 (3)人事考課面談や各種会議において、職員から研修テーマの要望を聞き反映させていく。	① 実施済み ・新人研修(平成 31 年 4 月) ・熱中症研修(令和元年 5 月) ・人権研修(平成 31 年 4 月) ② 実施予定 ・新人職員向け連絡帳の書き方、S→R 分析研修(令和元年 6 月ごろ) ・一般職向け支援技術研修(令和元年 7 月ごろ~) (3)は、考課面談にて研修テーマの聞き取り(令和元年 7 月・12 月ごろ)予定。	1 実施済み (平成 年 月) 具体的には以下のとおりです。

※この様式は、「東京都民間社会福祉施設サービス推進費補助金交付要綱」等の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価(又は利用者に対する調査)の結果は、施設において公表しているほか、「とうきょう福祉ナビゲーション」によりインターネットでも閲覧できます。

私たちの施設は、給付費や都からの補助、利用者からの利用料等によって運営されています。

＜障害者支援施設＞

施設名	五乃神学園	施設番号	45-0035
-----	-------	------	---------

平成30年度における施設データ

総事業費(事業活動支出)	307,611,250円
うち人件費	207,677,803円
定員	施設入所支援40人＋生活介護60人
利用者数(平成30年4月1日時点)	施設入所支援40人＋生活介護62人
常勤職員数(平成30年4月1日時点)	40人
非常勤職員数(平成30年4月1日時点)	5人

施設の収入（サービス推進費などの状況）【平成30年度実績】

給付費【負担率 国1/2、都道府県1/4、区市町村1/4】	242,328,901円
利用料【法定負担及び食費等実費負担分】	21,653,343円
他の自治体等からの補助	200,000円
都からの補助金(サービス推進費以外)	円

サービス推進費交付額(都独自の運営費補助) *注1	69,464,000円	
①社会福祉法人の施設経営にかかる基本部分の経費(基本補助)	計	37,368,000円
②施設の努力に対する加算	計	32,096,200円
第三者評価の受審・サービス向上に向けた計画策定	第三者評価又は利用者に対する調査	700,000円
地域で生活する障害者への支援	40人	19,480,000円
障害者等を職員として雇用し、障害者雇用を促進	人	円
障害程度の特に重い施設入所者等への支援	24人	5,431,200円
障害程度の特に重い施設入所者に対する医療的ケアや日中活動の支援		6,485,000円
その他の支援		円

※この様式は、「東京都民間社会福祉施設サービス推進費補助金交付要綱」の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※事業報告書、財産目録、貸借対照表及び収支計算書は、閲覧を希望する方に公開しています。

注1)「サービス推進費交付額」の金額と①～②の合計額は一致しないことがあります。